

愛知県立南陽高等学校 NanyoCompany部

愛知県立南陽高等学校 NanyoCompany部のカーボン・オフセットの取組

学校、地域、世界へ広げるカーボン・オフセット



取組の概要

学校・地域・環境イベント等で販売するお弁当「おもちやココレー」、Tシャツ、タオルなどについてLCA(ライフサイクルアセスメント)を実施し、その一部をオフセットする取組。さらに学校行事(文化祭、球技大会など)で使用される電力使用量においてもオフセットするなど、学校全体でさまざまなカーボン・オフセットに取り組む。また、地域住民、商品購入者、イベント来場者に対して、手作り紙芝居を使用したカーボン・オフセット講座を企画するなど、カーボン・オフセットの普及啓発にも積極的に取り組んでいる。

オフセットの分類	商品・サービス型、会議イベント型、自己活動型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
取組の実施時期	2012年12月1日～現在も継続中		
クレジット	クレジットの種類	①J-VER、②国内クレジット	
	プロジェクトの種類	①森林吸収系、②排出削減系	
	プロジェクトの名称	①木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト 他、②宮城県立がんセンターにおける総合省エネ事業	
	プロジェクト実施地	①岐阜県、②宮城県	
オフセット量	①3tCO ₂ 、②5tCO ₂ 、合計:8tCO ₂		
無効化日	①2012/12/11、2013/8/12、2013/8/13、②2013/8/5、2013/11/18		
販売数、参加者数等			
価格、参加費、クレジット費用の負担			
オフセット・プロバイダー			
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力		
・お弁当「おもちやココレー」についてLCA実施、温室効果ガス排出量(1製品あたり1kg)。 ・文化祭、球技大会に使用する「Tシャツ」、「タオル」についてLCA実施、素材に応じた温室効果ガスの排出量、及び会場の電力使用にともなう温室効果ガス排出量、他	・商品販売時に使用するビニール袋の素材をバイオマス素材へ変更することによりCO ₂ を削減。 ・イベント出展の際に、調理で使用する野菜等は地産の野菜を使用することで発送にかかるCO ₂ を削減。 ・学校の屋上に竹を敷詰め、構内の温度上昇を抑え電力使用量を削減。		
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点		
・商品の価値の向上だけでなく、カーボン・オフセットに取り組むことで、Nanyo Company部の知名度も向上した。また、温室効果ガス排出量の計算を生徒自身も行ったため、環境に対する意識も高まるなどの教育効果も見られた。	・商品をカーボン・オフセット行っていることを謳うだけでなく、販売時にはチラシや口頭で説明を行う事で、購入者の理解を深めた。 ・多くの人に分かりやすく伝えるため、対象の年齢に応じて、制度の説明方法を変えた。		

【問い合わせ先】

愛知県立南陽高等学校Nanyo Company部
担当: 柘植 政志、三田 千英子(Nanyo Company部 顧問)、
部員一同

TEL: 052-301-1973

Email: k613439g@m2.aichi-c.ed.jp (柘植)

ウェブページ: <http://www.nanyo-h.aichi-c.ed.jp/z-nanyocompany.htm>